



川中先生のブログ 学校、幼稚園、保育所健診

2014年05月25日 17時26分25秒

左はイメージ像。右は実像の健診風景です(ただし、5年前)。

先週は健診で疲れました。

新年度になると、毎年、幼稚園、保育所、学校の健診があります。私が担当しているのは、健診の順番に、東広島市立高屋中学の一学年約2百数十人、市立久芳保育所の園児20～30人、最後は私立高屋幼稚園が370人ぐらい。それぞれ2日、1日、3日、計6日、中学は4月、保育所と幼稚園は5月に行っています。

中学と保育所は、秋にも健診があります。中学は2年生の修学旅行前の健診で、一学年を2日で、保育所もやはり秋にも健診があります。春と秋で合計年9日の学校健診です。

先週は私立の高屋幼稚園の健診で、昼休みが3日潰れまし

た。咽喉を見るのに、ペンライトのスイッチを入れたり切ったりしていたら、初日は、途中で手の筋肉がつって困りました。前日にプールで泳いだ疲れもあったのかも知れませんが、普段そんなに多人数を診てないので、手や指の筋肉が疲れたんでしょう。何しろ130～140人ですから、、、

おまけに、短時間に聴診器を130～140回も耳に出し入れしていると、コスレテ痛くなってきます。若い頃、当番で日赤の献血に駆り出された時に、多人数の献血者の血圧測定で耳が痛くなったことがあります。普段はそんなに聴診器を使わないので、外耳道炎にでもなりそうでした。

このところ、いい天気、暇な毎日です。健診の時期、大体天候が良くて、本業は暇です。まあ、それでバランスが取れているんでしょう。午前の診療も、昼休みの健診も、午後の診療も忙しかったら身が持ちません。

健診も秋までしばらく休み、ああ～あ、それまでには、私も健診を受けて、体調を維持して元気でいたいといけません。年金受給の高齢者ですから、この身に何が起こるか分かったもんじゃないですからね。